

フォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

「がん」になっても、これまでの暮らしをあきらめない、自分らしく生き抜く。

「がん」の治療、予後が大きく変わろうとしています。

完治を目指す治療がある一方で、たとえ再発や転移をしても、「がん」によって生じる“さまざまな痛み”をできるだけ減らしていく治療やケアが始まっています。

「支持療法」「緩和ケア」などを診断直後から取り入れることで、がん治療そのものに効果があるといわれています。

フォーラムでは、日々進化するがん治療と副作用への対処法など、最新の医療情報とともに、本人に寄り添う支援のありようについて、医療従事者、当事者の方が語り合います。



参加者募集中

日時：2015年4月11日(土)

開場：午後0時30分 開演：午後1時 終演：午後3時30分(予定)
※途中休憩あり

会場：市民会館崇城大学ホール
(熊本市民会館) 大ホール

住所：熊本県熊本市中央区桜町1-3

定員：800名 **参加無料** 事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

交通 ●熊本市電『花畑町』電停から徒歩約2分
●熊本交通センター(バス停留所)から徒歩約2分
※公共交通機関をご利用ください。



イラスト/マルシエル

主催 ●NHK厚生文化事業団 NHKエンタープライズ 読売新聞社
後援 ●NHK熊本放送局 熊本県 熊本市 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会 社会福祉法人熊本社会福祉協議会 公益社団法人熊本県医師会
一般社団法人熊本県歯科医師会 公益社団法人熊本県薬剤師会 公益社団法人熊本県看護協議会

賛 ●自然・健康科学 漢方のツムラ ほか

出演者プロフィール

基調講演

北島 政樹

きたじま まさき

国際医療福祉大学 学長

慶應義塾大学医学部卒業。Harvard Medical School, Massachusetts General Hospitalに2年間留学。元慶應義塾大学病院病院長、同大医学部部長。第100回日本外科学会会長、第42回万国外科学会会長、日本癌治療学会理事長、日本コンピュータ外科学会理事長、日本内視鏡外科学会理事長、国際消化器外科学会会長のほか、世界最高峰の医学雑誌「New England Journal of Medicine」の編集委員を務めるなど国内外で活躍。ハンガリー・センメルweis大学名誉医学博士、ポーランド・ヴロツワフ医科大学名誉医学博士。これからのがん医療は常に患者さんの視点でみることが重要であり、低侵襲・個別化医療とチーム医療がキーワードになると考えている。

パネルディスカッション

馬場 秀夫

ばば ひでお

熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学 教授

1984年熊本大学医学部卒業、2003年九州大学医学部第二外科助教授。2005年熊本大学大学院消化器外科学教授に就任し、2010年副研究部長、2011年熊本大学医学部附属病院副病院長を兼任。医療と若手教育にあたり共に、日本外科学会理事、日本癌治療学会理事、日本消化器癌発生学会理事等、学会役員を務め、がん診療の学術的活動や啓蒙活動にも精力的に取り組んでいる。

後藤 慶次

ごとう けいじ

医療法人ソレイユ ひまわり在宅クリニック 理事長・院長

1986年熊本大学医学部卒業、麻酔科医師として臨床麻酔やペインクリニックに従事。1993年医学博士。1997年より春日クリニックにて地域医療、在宅医療を学び、2001年より熊本地域医療センター緩和ケア病棟医長に就任。ホスピスケアを学び、多くの方の看取りに接し、自宅で最期を迎えたいと希望される患者さん・ご家族の想いをかなえたいと2009年4月ひまわり在宅クリニックを開院。現在に至る。

安永 浩子

やすなが ひろこ

国立病院機構熊本医療センター 副看護部長、がん看護専門看護師

急性期病院、訪問看護ステーション、緩和ケア病棟を経て、2009年福岡県立大学大学院を修了。がん看護専門看護師に認定され、国立病院機構熊本医療センターにがん看護専門看護師として入職。専門分野は緩和ケアで、がんと診断された時期から患者ご家族さまの抱える問題を共に考え、がんであっても最期の瞬間まで自分らしく輝いて生きることを支援を行っている。日本がん看護学会代議員。熊本大学大学院非常勤講師、福岡県立大学大学院非常勤講師・臨床准教授。

藏座 幸光

そうざ ゆきみつ

がんサロンネットワーク熊本 副代表
働き&子育て世代のためのがんサロン 代表世話人

熊本県熊本市生まれ。県下の学習塾講師として働いていた2009年、突如激しい腹痛に襲われ、GIST(ジスト・消化管間質腫瘍)と告知される。希少がんであるGISTは発症率が低く情報も少ない。そのため手術後孤立したものの、当事者ネットワークの一つ「GISTERS.NET」に参加。同じ患者が寄り添うことで心のよりどころになることを実感する。現在、再発肝転移・腹膜播種を分子標的薬で治療しながら、働き&子育て世代のためのがんサロンなど、熊本市内で2つのサロンの代表世話人をつとめている。

コーディネーター

町永 俊雄

まちなが としお

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入) 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号 4. 参加人数

5. ご一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合) を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「フォーラム がんと生きる 熊本」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <http://www.npwo.or.jp/>

定員になり次第
締め切ります

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。3月27日以降、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。

※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤り及び記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合があるので、ご注意ください。

※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

フォーラムがん と生きる 熊本	ふりがな	参加人数	< 一緒に参加される方の名前 >
	名前 ※必ず個人名をご記入ください。	人	
	住所 〒		
	電話番号		

お問い合わせ

NHK厚生文化事業団

TEL 03-5728-6633

(平日 午前10時~午後6時)